



フォレスターうじ 会報

第271号
令和3年9月1日発行
森林ボランティア
フォレスターうじ

ホームページ : <https://forester.foresteruji.org>

八月定例活動の中止

八月二十二日に予定していた定例活動は、京都府に緊急事態宣言が発令されたため、中止しました。

但し、同日午後一時から二時半まで深田会長、上田工具担当、木曾の三人で鋸の在庫を再調査しました。

また、八月十五日に加地会員、上田会員が天ヶ瀬森林公園に行きました。その時の森林公園の様子を報告してくれました。

一週間にわたる長雨の影響で、森林公園内榎尾山林道の側溝が土砂等で詰まっていたので手作業ですができることをやったとのこと。また、森林公園入口までの市道では、樹木が倒れかかっていたので除去したとのこと。

(記 木曾 宗統)
(写真提供 上田 匡慶)



8/15 森林公園までの市道



8/15 榎尾山林道側溝の掃除

エッセイ

どんぐりプロジェクト

苗圃方式はしつぱいだったか

栗津 國雄

五月と六月の定例活動で、どんぐりの幼木を掘り出し、大屋根休憩所横とフォレスターうじ広場前に設置した二ヶ所の防鹿柵の中に移植した。両日とも森なかまの若い人たちが作業してくれた。五月は雨の中、高さ一・五m以上の幼木四本を大屋根休憩所横に、六月は二・三mが一本、約一mが四本をフォレスターうじ広場前に移植した。大屋根休憩所横に植えた四本の内三本が枯れていたの除去し、その後には会員が持参した一mぐりの幼木を四本補植した。

七月に点検したが、フォレスターうじ広場前の二・三mは主幹二本の内一本は枯れ、一本は一部の枝に葉が若干残っていた。しかし、根元にヒコバエが五、六本生えている。約一mの四本は全て枯れていた。大屋根休憩所横では、全五本の内四本が生きていた。

枯れた原因は、苗圃から幼木を掘り出す際、根が深く完全に掘り出すことができず途中で切れてしまい、また根には土がついていない状態だった。植えても水を吸い上げる機能が低下してしまっただからだと思う。

苗圃で四〜五年経てば樹高は一〜二mになるが根も同じぐらいの長さで地中に延びている。これを、土をつけたままでそっくり掘り出すのは不可能だ。苗圃は「仮植え」だから一〜二年で移植するのがいいのではないか。それよりポット(鉢)から直接防鹿柵の中に移植するほうが望ましいと思われる。

八月の会報に、小林副会長も幼木の枯れた原因

は「植え方と植える時期に問題があると思われる」と指摘されている。「植え方」をみんなで話し合いたい。



8/15 森林公園までの市道

森林ボランティア一日体験と樹木観察会

九月十九日(日) 九時三十分から

天ヶ瀬森林公園

九月第三日曜日は国土緑化推進機構が定めた森林ボランティアの日です。朝九時半から天ヶ瀬森林公園で、森林ボランティア一日体験と樹木観察会を開催します。ご興味のある方はフォレスターうじ事務局(裏面)まで。

フォレスターうじ 研修会

京北町樹々の会と交流見学会

行き先 京都市右京区京北地区

日時 十一月七日(日) 午前八時

集合場所 JR宇治駅前

参加費 一般二千円十層食代千五百円

樹々の会は京北町地元の女性林業グループです。女性の視点で森林振興に取り組んでいます。楽しいな交流見学会です。参加希望の方はフォレスターうじ事務局(裏面)まで。

エッセイ

ホームページ担当を引き継いで

林 幸広

森林ボランティアフォレスターうじのホームページ（以下、HP）を引き継ぐことになりました。軽く考えていましたが、いろいろと制約がある上に使い方のノウハウを書いたものがなく、新規に作り直す必要がありました。

HPとはどういう仕組みか、どういうソフトがあつて費用はどれくらいか、といった基礎的な事を一から調べました。次に、どういうHPが必要なのか、を調べました。森林ボランティアNPO法人として大規模に活動していてHPの情報量や体裁も充実したものがありませんが、とても真似できないので、フォレスターうじのHPの役割を考えて内容を絞りました。

最終目的は、会員となって活動に参加してもらうことですが、それ以前に、ボランティアや天ヶ瀬森林公園、といったことに関心をもってもらう必要があります。関心のない事に参加することはないですから。

天ヶ瀬森林公園を知り、森の効用を知り、「天ヶ瀬森林公園に行ったら楽しそう」と感じて関心を持つてもらうことが必要です。

そこで、HPでは、森林浴の効用を知ってもらうことや、ブログで森の様子を写真で見てももらうこと、森林ボランティアにお試しで参加できる敷居の低さ、などを意識しました。次は、HPを見てみよう、と思ってもらえるように他のHPとのリンクやネット連携、QRコードなどを工夫しようと思います。

ホームページはこちら↓



フォレスターうじの新ホームページ
<https://forester.foresteruji.org>

エッセイ

共有できる何かを

木曾 宗統

八月は定例活動が中止になったが、用事があり二十一日、二十四日、三十一日と三回も天ヶ瀬森林公園に行った。二十二日は会長とUさんと三人、二十四日はYさんと二人、そして三十一日は会長と二人だった。前々週の長雨のせいで公園の入り口に土砂が流れ出ていて、雨の怖さを感じさせた。それでも街から比べると少し気温が低く心地よかった。しかし、みんなと一緒に鋸の勘定などをしていると、首から背中から腹から汗が噴き出してくる。そして思うように身体も機敏に動かない。

まあ、でも、それは理解できる。仲間みんながいたら、それが励みになって動かない身体でもそれはそれで動き出す。活動日にみんなが集まらないというのはどう言ったらいいのか、詰まらないのか気が抜けるというのか、一か月の僕の生活のリズムの中でぽっかりと穴が空いた感じである。

しかし、八月三回も森林公園に行けたというのは良かったと思う。一緒に行ってくれた三人の仲間には、この場を借りてお礼を言おう、「どうもありがとう」。

御礼ついでに思うことは、仲間がいるということは大仕事なことと改めて感じる。どんなことでもいいから共有できる何かを持ち合う仲間の存在の大切さを痛感している。齢七十年今更ながら、共有できることを大事にしていきたいと思っている。

ところで、二十二日、二十四日にはなかったのに、三十一日、槇尾山林道で直径二十cmほどの倒木が四本ほど重なって発生していた。すぐに農林茶業課に連絡した。「二週間も雨が降っていないのに地盤が雨水で軟弱になっていたのか」と会長が話し、一緒にできるだけの倒木の除去をした。

今後の活動・行事の案内

令和三年九月以降の予定です。当月の定例活動の詳細は、当月の「活動案内」でお知らせします。

十月定例活動

十月十七日（日）天ヶ瀬森林公園

・天ヶ瀬森林公園京都大作戦の森の森林保全整備

十月特別活動

・宇治橋通り商店街わんさかフェスタは中止です。

十一月特別活動

・四月に予定していた緑のウォークラリーは十一月三日に延期されますが、本会は参加中止です。

フォレスターうじからのお知らせ

天ヶ瀬森林公園で、地球温暖化防止の森林保全活動を体験しませんか。新しい仲間を募集中、まずは一日体験から参加して下さい。

入会金 千円 年会費 二千円

活動日 毎月第三日曜日

活動場所 天ヶ瀬森林公園

森林ボランティア「フォレスターうじ」事務局

宇治市折居台二丁目一―五

木曾 宗統 方

TEL 090-9270-0763

編集後記

今年度も特別活動の外部催事に参加できない状況である。また、深田会長から本会の定例活動においても活動を中止することもあると連絡があった。本当に残念である。会員の皆様からの投稿を心よりお待ちしております。気軽に投稿ください。

（編集担当 木曾 宗統）
（写真担当 林 幸広）

会員 23名 = 23

後援会員 11名 = 11

小計 34

行政等（郵送） = 8

行政等（手配り） = 7

小計 15

合計 49部

市役所掲示板用（片面） 1部

森林公園掲示板用（片面 B4） 1部

印刷用（片面） 1部